

# 大崎町で活躍しています ✨ vol.3



異国情緒あふれる店内。大崎町三文字で多国籍食材店「ホアン アイン マート オオサキ」を営むトラン・ヴァン・トロンさんにお話を伺いました。

## ● ベトナムから熊本、そして大崎町へ

ベトナムのゲアン省出身のトランさんは、元々は留学生として来日。自動車整備の仕事を経て、熊本で色々な国の食材・調味料を扱うお店をオープンしました。その後、友人から「大崎町で故郷の味を食べたいけど、手にする機会がないという人達がいる」という話を聞き、その想いに共感したトランさんは、昨年度、大崎町に2号店をオープンしました。

## ● 多国籍食材・調味料の宝庫

店内には、ベトナムをはじめとした、東南アジアの食材や調味料がずらり。トランさんは、故郷の味を思い出せるような食材を揃えたいという思いで、商品を選んでいきます。

## ● 大崎町での暮らし

大崎町に来て良かったことは、「外国人も日本人も優しいこと」。日々の声掛けや、畑の作り方を教えてくれたりと、地域の人々との温かい交流がトランさんの日々の活力となっています。

一方、「一人でお店を切り盛りしているため、熊本にいる家族と会える機会が少ないこと」や、最近、ますます色々な国籍の方が増えてきておりそれぞれのニーズに沿った商品を仕入れることが大変なことだと語ります。

## ● 故郷の味を繋ぐ架け橋

今後も、「より多くの人に故郷・違う国の味を楽しんでもらえるように商品を充実させ、安く提供できるように頑張りたい」というトランさん。多国籍食材店「ホアン アイン マート オオサキ」は、大崎町で暮らす外国人の憩いの場であり、異国の文化に興味を持つ人々にとって、新たな発見の場となるでしょう。

### 【住 所】

大崎町仮宿1130-16

### 【営業時間】

10:00～20:00

(水は定休日、

木は16:00～20:00)



「きっかけは声かけから」

多文化共生サポーターを募集しています！

興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課  
共生協働係 (221)

## マンガふるさとの偉人

# 『不屈の魂 ～荒佐野を拓いた人たち～』

問 社会教育課 文化公民館係 (421)

照日神社の展望台から見渡せる地域は「荒佐野」と呼ばれ、1688年(元禄元年)から7年間にわたって大阪から移住してきた人たちが開拓した場所です。

元禄時代といえば、5代将軍徳川綱吉が「生類憐みの令」を出していた時代です。いよいよ徳川の政治に不満を持った大阪の人々は、身分も財産も捨てて新天地への移住を計画します。

摂津国郡奉行の出原次左衛門<sup>いずはらじざえもん</sup>は、薩摩藩を頼って、薩摩藩領内への移住を実現化させますが、移住先は手つかずの荒地でした…。

B&G財団の「ふるさとゆかりの偉人マンガ製作と活用事業」の助成を受け、移住までのいきさつと、新天地を切り開いていく人々の様子を1つのマンガにしました。このマンガは現在、大崎町公式HPの「教育・文化」の中の「文化」のページで公開しています(前編と後編に分けています)。また、町内公共施設の図書コーナーにも設置します。どうぞご覧ください。

